

目 次

研 究 論 文	ホーロー処理した鑄鉄の表面組織に及ぼすC, Si量及びTi添加の影響 及川春樹, 平塚貞人, 堀江 皓, 米倉勇雄, 阿部 峻	513
	チルプレート上で急冷凝固させたAl-17%Si合金における共晶Si形態 豊田充潤, 森中真行	518
	片状黒鉛鑄鉄溶接のための共金系溶接材料の検討 門井浩太, 橋本匡史, 篠崎賢二	524
~~~~~		
技 術 報 告	ADC12 ダイカストの二重のり現象に関する考察 水草康行 .....	531
	粘結剤の異なる鑄型に鑄込んだ鑄鉄鑄物のガス分析 黒川 豊, 天久裕樹, 枝根和也, 黄 子争 .....	534
現 場 改 善	電気炉溶解材料供給遅れ低減による出銑量向上 伊賀拓馬, ほか .....	543
連 載 講 座	連載「鑄造要素技術概論」 局部加圧法 井澤龍介, 高橋正男, 浅野圭吾, 関 章 .....	548
~~~~~		
随 想	鑄造カレッジへの想い 易 宏治	552
インタビュー「鑄物人」	554
シリーズ「海外生活体験レポート」	556
Y F E だより	558
ズバリ回答・・・今さら聞けないこんなこと	559
第72回世界鑄造会議（WFC2016）報告	560
支 部 だ よ り	中国四国支部の活動報告 信木 関	585
「Materials Transactions」誌への投稿	590
学会関連行事日程／次号予定	592
編 集 後 記	593
鑄造品生産量推移	594
会 告		

表紙の写真



～第88巻表紙シリーズ「鑄物の産地の今」～

表紙の写真：天明鑄物（栃木県佐野市）

コメント：下野国佐野天明（栃木県佐野市）の地で作られた鑄物あるいは佐野の鑄物師によって作られた鑄物が天明鑄物と呼ばれます。天明鑄物は平安時代中期の天慶年間（934～947年）に河内国丹南（大阪府）から5名の鑄物師が移住し兵器類を鑄造したのが始まりと伝えられています。天明鑄物の最盛期は、室町時代から江戸時代で、安土桃山時代には、天明鑄物の茶釜は、福岡県の芦屋釜と併せて、「西の芦屋、東の天明」と並び称されました。

佐野の鑄物師も少なくなってきているようですが、佐野市観光協会が鑄物関連の史跡を回るマップを作成しています。表紙の写真は、かつて佐野鑄造所として操業していた鑄物工場で、明治時代に建てられた煉瓦造りのキューボラの建屋跡です。また、惣宗寺には、明暦4（1658）年に天明鑄工105人が合作して寄進した重さ1125kgの銅鐘があります。これは天明鑄物の中でも代表的な作品です。

